

注目議案

令和5年度 決算

◆わたしたちのお金はどう使われたの？

一般会計 歳入 204億4776万円、歳出 193億5447万円

●一般質問

9人の議員が登場

●委員会レポート

福祉産業建設委員協議会

インクルーシブ遊具3基、健康遊具2基を設置予定 他

総務教育委員協議会

災害時の避難所生活を検討 他

第7次総合計画策定特別委員協議会

第7次幸田町総合計画の策定に着手

DX推進特別委員協議会

DX推進方針の個別取組の議論が進む



幸田町議会HP

こんにちは
ぎが
幸田
かい



令和5年度 決算

わたしたちのお金は
どう使われたの？



一般会計の決算額

歳入 **204億4776万円** 歳出 **193億5447万円**



歳入 財源の柱 ふるさと寄附金



ふるさと寄附金
30億3287万8000円
(前年度比▲8.8%)

問 寄附金が前年度より減少している。対策は？

答 ふるさと寄附金の専任職員2人体制にし、ポータルサイトの管理・監視強化など踏み込んだ対策で寄附額増を目指す。



歳出 未来を担う子どもたちが良い環境で学んでいる



令和6年9月に完成した新校舎

深溝小学校整備事業
2億1678万1000円

35人学級対応のための
3階建て校舎の増築工事

問 増築のため学校プールをなくし、町民プールで水泳授業をすることになったが、メリット、デメリットは？

答 メリットは指導者による専門的な指導を習熟度別に受けられる。デメリットは移動に時間がかかる。

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率等については、健全な数値と認められた。

令和5年度決算は、町税全体で増収となったが、重要な財源となっているふるさと寄附金は減収となった。年々増加する社会保障関係費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後も予算を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いた確かな予算配分等を含め、適正な公金支出に心掛け、町の発展、より良い行政サービスのため、一層の職務に精励されたい。

監査委員 大浦 裕
黒木 一

令和5年度決算審査意見書

便利で安全な交通網が整備されている



デマンド型乗合サービス
運行事業
(チョイソコこうた)

1510万4000円

コミュニティバス
管理運営事業
(えこたんバス)

2764万8000円

問 地域公共交通会議で交通システムについてどんな話が出ているのか？

答 私案だが、3駅を中心としたえこたんルートで通勤者を運んだり、チョイソコの学区を広げたり、岡崎・蒲郡・西尾と行き来する連携をしたい。(町長)

お年寄りが笑顔で元気に暮らしている



長嶺北部地区福祉医療
ゾーン開発事業

2億6600万3000円

愛厚藤川の里と介護老人
保健施設を誘致推進

問 介護老人保健施設事業者の公募選定は？

答 1回目の公募は応募者なし。募集要件の見直しとして、永年無償借地や施設整備の補助金も検討。

不用額を多く生み出し、9億8000万円の黒字となった。16億円の基金を繰り入れながら取りやめるなど財政運営が定まっていけない。資本金10億円以上の大企業に制限税率課税で自主財源確保を。長嶺北部地区福祉医療ゾーンの優遇策はやめるべきだ。町民生活を守るため、福祉の増進を図るべきだ。

町民生活を守る福祉の増進を

丸山千代子議員

反対

賛成

討論



歳出では町民ファースト目線で、未来へ活きるインフラ整備に取り組み、安全安心を望む。

令和5年度一般会計歳入歳出が、4%黒字決算に感謝します。
歳入の町税は大手自動車関連企業の増益と特別措置の縮小等の増収で、先人の歳入の基本である企業誘致、都市基盤整備の成果です。継続が大変重要です。ふるさと納税も財源の柱であり、特産品の魅力を発信してほしい。

町民ファースト目線で事業を

長谷川進議員

一般会計・特別会計・公営企業会計の決算額と採決結果

会計区分		歳入	歳出	採決	
一般会計		204億4776万円	193億5447万円	反対1：賛成14で認定	
特別会計	土地取得	3億8506万円	3億4012万円	全員賛成で認定	
	国民健康保険	32億2083万円	32億1471万円	反対1：賛成14で認定	
	後期高齢者医療	5億5184万円	5億5083万円	反対1：賛成14で認定	
	介護保険	23億9806万円	23億9466万円	反対1：賛成14で認定	
	農業集落排水事業	3億2949万円	2億8533万円	全員賛成で認定	
(公営企業会計 税抜き)	水道事業会計	収益的収支	7億9334万円	6億6637万円	全員賛成で可決及び認定
		資本的収支	7520万円	3億7171万円	
	下水道事業会計	収益的収支	7億698万円	6億9830万円	全員賛成で認定
		資本的収支	4億7170万円	5億4797万円	

9月議会のあらまし

9月2日～25日

議案

全議案承認・可決

- 報告1件 健全化判断比率等について
 - 委員の選任1件 幸田町固定資産評価審査委員会の委員の選任について
 - 条例の制定2件 幸田町個人番号カードの利用に関する条例の制定について など⇨下記参照
 - 工事の請負契約について2件 中学校体育館空調設備設置工事 など
 - 財産の取得について2件 移動型バリアフリートイレトレーラー など
 - 条例の一部改正について2件 幸田町国民健康保険条例の一部改正について など
 - 補正予算関係4件 令和6年度幸田町一般会計補正予算(第3号) など⇨5ページ参照
 - 決算認定関係8件 令和5年度幸田町一般会計歳入歳出決算認定について など
- ◎陳情 12件を審議し、2件を採択とした

◆最終日の追加議案◆

- 議員提出議案2件 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出 など

一般質問

9人の議員が町政全般にわたる課題をただした。⇨6～11ページ参照



Pick up!

個人番号カードの利用条例が制定される!!

法律に基づき個人番号カード(マイナンバーカード)を利用する

例

マイナンバーカードでタクシー利用

本町が進める高齢者及び障害者へのタクシー助成のデジタル化にあたり、マイナンバーカードを利用する。



問

マイナンバーカードを利用した実証を実施するとあるが、導入はいつ頃か。

答

令和7年1月からモニターさん100人を募集する。

問

家族などの付き添いは可能か。

答

本人が乗車していれば家族同伴可能(説明会は同伴で参加ください。)

条例制定で嬉しいことは?

- 高齢者及び障害者の移動をサポートしやすくなる。
- タクシー利用券の電子化で精算が容易になる。



補正予算



※補正予算とは
当初予算の成立後に新しく組まれる予算です。自然災害や社会情勢の変化で新しい予算が必要な場合に追加されます。

ごみが少なく、まちがきれい



粗大ごみ集積場（桐山）

粗大ごみ集積場
用地購入費
1億2600万円
粗大ごみ集積場
建物購入費
600万円

問 なぜ補正予算なのか。もっと早い時期に予算を組むべきではなかったか。

答 貸借料金等総合的に検討し、長年JAとの交渉をしてきたが、今回承諾の話が提示され実施する事とした。

生命・財産を守る体制が整備されている



仲田アンダーパス

仲田アンダーパス
自動閉鎖機
設置工事請負費
4000万円

問 水深はどの位で自動検知し、遮断するのか。遮断解除はどの様にするのか。

答 水深15cmになったら自動検知し遮断され、通行不可となる。遮断解除は役場職員が安全状況確認後、解除操作する。

賛否の分かれた議案		議席番号															議長	議決結果 (賛成:反対)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
議案		議員名	藤本和美	吉本智明	野坂純子	松本忠明	長谷川進	岩本知帆	田境毅	石原昇	都築幸夫	黒木一	廣野房男	稲吉照夫	笹野康男	丸山千代子	鈴木久夫	藤江徹		
第47号議案	令和6年度幸田町一般会計補正予算（第3号）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (14:1)
陳情第1～5号、第8～10号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情など		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	不採択 (1:14)	
陳情第11、12号	「新型コロナワクチン健康被害の実態と次世代型コロナmRNAワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知」と「mRNAワクチン定期接種中止を求める意見書提出」を求める陳情など		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択 (1:14)	

※議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

一般質問

9議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



一般質問事項

議場のシェイクアウト訓練

質問者	質問	回答	頁
鈴木 久夫	1 三ヶ根駅前と駅周辺の整備を 2 こども食堂の支援は実態に即した内容に	1 深溝小通学路坂道の改修などを実施 2 今後地域の活動に繋がるよう準備する	7
吉本 智明	1 早急に学校トイレ便器洋式化へ改善を 2 公用車の適正管理のための予算確保を 3 通学路など危険な箇所の早急な対応を	1 使用状況を考慮し順次早期対応を検討 2 適切な更新や管理を図るよう務める 3 住民の声を速やかに現場対応したい	8
野坂 純子	1 加齢性難聴者の補聴器購入助成の考えは 2 地域包括支援センターの利便性のPRを 3 地域防災会議委員に積極的に女性起用を	1 岡崎市を参考に準備していきたい 2 チラシや回覧で幅広く周知していきたい 3 女性の比率向上に努めている	8
長谷川 進	1 高齢化が進む中での里山管理をどうする 2 荻谷土地区画整備事業の町道整備は 3 行政の働き方改革は実施しているか	1 行政区活動参加者の負担軽減に取り組む 2 事業区域内からの安全なルートができる 3 時間外労働の削減年休取得を進めている	9
岩本 知帆	1 子どもの居場所づくりを支援する考えは 2 高齢者の足に公共交通の拡大を 3 ヤングケアラーの支援を	1 社会福祉協議会と連携しながら検討 2 再編と利用可能区域の拡大を計画する 3 支援体制整備でファミサポ利用を研究	9
都築 幸夫	1 役場周辺の3つのため池の防災対策を 2 国の森林経営管理制度による森林整備を	1 県営事業として、改修に早く取り組む 2 深溝小原地区で森林整備意向調査を実施	10
丸山千代子	1 ハラスメント根絶のゼロ宣言を 2 若者の奨学金返還支援制度の創設を	1 内部問題を相対的に捉え相談していく 2 中小企業の奨学金支援制度を周知する	10
田境 毅	1 水素社会に向けた環境づくりの促進を 2 SDGs17ゴールをどう推進されるか	1 中小企業等の支援体制構築を調査、研究 2 庁内の共通認識醸成する環境を整えたい	11
藤本 和美	1 新型コロナ接種健康被害救済の案内は 2 公共施設の当日予約利用を可能に	1 ホームページに掲載して周知している 2 当日利用とキャッシュレス決済導入調整	11

長谷川議員による「行政の健全な働き方改革について」に対する回答に関心を持った。結論から云えば、役所の問題意識の低さを露呈した格好だ。まずは役所の意識改革からであろう。少子高齢化の下では職員ひとり一人の生産性向上が前提であり、その原点はムダの排除である。民間企業では、付加価値を生まない行為をムダと云う。公僕たる役所では、どう解釈するか、衆知を集めることが不可欠だ。働き方改革は避けて通れない。小手先の対応では済まされず、真摯な議論を通じて継続的な取り組みを期待したい。



はたとしみち 秦 俊道さん

：議会傍聴記
先ずは役所の意識改革から

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像

過去の議事録



一般質問ページをリニューアルしました！

議会映像を見てみよう！

(YouTubeとは契約関係にないため、配信映像が正常に視聴できないことがあります。)

YouTubeでの検索



YouTubeの検索で『幸田町議会』と検索

幸田町議会



または

QRでの検索



カメラでQRコードを読み取る



すずき ひさお 鈴木 久夫 議員

三ヶ根駅前と駅周辺の整備を



映像

深溝小通学路坂道の改修などを実施



三ヶ根駅西口の改修内容は、洋風タイプのトイレ新設、駅前街路灯4基設置、歩行スペースのインターロックキング全面改修、駐輪シエルト改築、キッチンカー駐車スペース設置など内容の確認。

駅周辺整備は、深溝小学校までの坂道を、滑り止め機能のカラー歩道に改修。

駅からのウォーキングコースルートに、深溝保育園前の妙見山も景色楽しみコースとして今後、考えてみたい。

三ヶ根山ハイキングコースーノ瀬口ルートが荒れ、整備が必要。



流しそうめんを楽しむ子どもたち (市場公民館)

今後地域の活動に繋がるよう準備する

こども食堂の支援は実態に即した内容に

答 町長▼町単独設置もあるが、補助制度の活用を考える。

問 三ヶ根駅のエレベーター設置は。

答 建設部長▼当面は、駅利用者が雨宿り出来るものを来年度予算要望する。

問 駅前の雨除けシェルトの新設は。



映像



早急に学校トイレ便器洋式化へ改善を

使用状況を考慮し順次早期対応を検討



よしもと ちあき 議員
吉本 智明

一般住宅では、ほぼ100%洋式便器である。学校の使われない和式便器を改善してとの、保護者の声がある。学校トイレ便器の洋式化を問う。

問 洋式トイレ前に子どもたちが並んで放課時間内に間に合わない。各フロア1カ所の洋式便器整備で、使われない和式便器が何基あっても役に立たない。

答 現地調査を進め、洋式化率や児童の使用状況を考慮し、順次早期対応を検討する。子どもに寄り添った洋式トイレ整備を。



洋式化に合わせて乾式化されたトイレ

問 使われない和式便器が何基あっても役に立たない。計画を前倒しし、早急にトイレ便器洋式化へ改善を。

答 教育部長▼トイレ洋式化に合わせてトイレの乾式化と、配管の長寿命化を、令和8年度から3力年で6小学校整備進める。費用については、4億2000万円程度見込んでいます。



映像



加齢性難聴者の補聴器購入助成の考えは

岡崎市を参考に準備していきたい



のさか じゅんこ 議員
野坂 純子

現在、加齢性難聴が認知症の大きなリスク要因である。補聴器で聞こえを改善できる。しかし、種類も多く、高額である。

問 本町の高齢者（65歳以上）の割合は健康福祉部長▼人

答 □4万2226人に対し、9339人で高齢化率22%。

問 近隣市町の補聴器の助成状況は。

答 県内では、岡崎市など16自治体。

問 本町の補聴器の購入助成の考えは。

答 岡崎市を参考に、準備していきたい。



補聴器で楽しく暮らす



避難所運営に女性を起用

地域防災会議委員に積極的に女性起用を

女性の比率向上に努めている

国の防災復興ガイドラインに、避難所役員が3割以上を、女性にすることが上げられているが。

問 本町の防災対策へ反映されているか。

答 総務部長▼研修など参加いただき、避難所運営の参画を呼びかけている。



は せ が わ す ず む
長谷川 進 議員

高齢化が進む中での里山管理をどうする



映像

行政区活動参加者の負担軽減に取り組む



傾斜地での草刈り

問 高齢化が進み、危険地帯での草刈りで、足を滑らせ危険が伴い大変苦労している。町全体の草刈りを問う。

答 傾斜地など、危険地帯での草刈りをしていく区はあるが、何力所あるか。

問 総務部長▼危険地帯での草刈りをしている区は20区で、危険箇所は合わせて、15力所ある。

問 草刈りに悩んでいる区はあるか。

答 23区全ての区において、高齢化が進む中、草刈りに悩んでいる。

問 荻区ラジコン草刈りテストを生かして、高齢化が進む中での、里山管理をどうしていくのか。

答 建設部長▼行政区活動の負担軽減や、意識向上に繋げる取り組みをしていく。

問 環境経済部長▼土地改良区や組合など、危険な草刈りである事は把握している。ラジコン草刈り機を、前向きに検討したい。



ラジコン草刈り機



い わ も と ち ほ
岩本 知帆 議員

子どもの居場所づくりを支援する考えは



映像

社会福祉協議会と連携しながら検討



問 子育てしやすく住みやすい町づくりについて問う。

答 子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行うボランティア活動に、町からの支援を行う考えは。

問 家事サポート事業の対象を、小学校入学前までから卒業まで対象拡大を。

答 子ども課長▼社会福祉協議会と連携しながら検討する。

問 妊産婦タクシーの利用基準が狭く不便。範囲拡大を。

答 健康保健担当参事▼よりよい支援となるよう、実情に合わせた利用範囲の検討をしていく。

問 役場庁舎1階に、キッズスペースの設置を。

答 企画部長▼安全確保の課題は多く、すぐには踏み切れない。



「こどものいばしょ」で楽しむ子どもたち



映像



役場周辺の3つのため池の防災対策を

県営事業として、改修に早く取り組む



つばき ゆきお 議員
都築 幸夫

問 役場周辺に3つのため池（上流より新堤池、鍵堤池、大山池）が存在する。昨年6月の台風2号に伴う豪雨で、2つ目の鍵堤池が越水し、すぐ下の中央公民館駐車場に大量の水が流れ落ち、駐車場はさながら池のようになった。

答 地震や、大雨で堤防が決壊すると、地域住民へ甚大な被害が発生する。役場周辺の3つのため池の防災対策を、町長▼県営事業として、改修を少しでも早く取り組む。



かぎつづみ
昨年6月、豪雨で越水した鍵堤池

国の森林経営管理制度による森林整備を

深溝小原地区で森林整備意向調査を実施

問 我が国では、所有者や境界不明の森林増加や、担い手不足による森林放置が大きな問題となっている。

答 環境経済部長▼本年度は、深溝小原地区で森林整備事業の意向調査を実施する。

ハラスメント根絶のゼロ宣言を

内部問題を相対的に捉え相談していく



まるやま ちよこ 議員
丸山 千代子

問 ハラスメントは精神的、身体的苦痛を与え尊厳を踏みにじるもので絶対に許されない。2020年6月「改正労働施策総合推進法」の施行で、パワハラが法的に定義された。対策をうかがう。

答 総務部長▼ハラスメントの防止要綱で法的義務を整理し、人事院が定める指針で徹底を図っている。

問 愛知県人事委員会に訴えた件は信ぴょう性に欠けるとしたハラスメントの防止・根絶するため、ハラスメント防止の条例やゼロ宣言をすべきだ。

答 町長▼予防対策として研修をし、町内部の問題を相対的に捉えた上で、職員、議会と相談しながらゼロ宣言の流れに持っていきたい。

若者の奨学金返還支援制度の創設を

中小企業の奨学金支援制度を周知する

問 3人に1人が奨学金返済をしている。

答 環境経済部長▼県の中小企業の奨学金支援制度を広く周知する。



ハラスメント研修会の風景



たきょうつよし
田境毅 議員

水素社会に向けた環境づくりの促進を



映像

中小企業等の支援体制構築を調査、研究



問 2050年に向け、町が担うべきカーボンニュートラル関連施策は、次年度予算に反映し、着実に前進させるべきもの。

※ 施策の課題として、J-クレジット制度などの手段を有効活用し、取り組むべきではないか。

水素社会に向けた環境づくりの促進を期待するが、本町の考えは環境経済部長へは、

答 環境経済部長へは、共施設への再生可能エネルギーの導入方法の検討及び導入スケジュールの具体化、民間事業者との連携による施策推進などが課題で、J-クレジット制度産地消スキームの導入を、検討している。

今後、国の動向を注視し、県との連携により、中小企業等が経営に取り組むことのできる、支援体制構築を、調査、研究する。

ことば解説
【※J-クレジット制度】
省エネ機器導入や森林経営などの取り組みによる、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。



里山で環境課題を学ぶ小学生

新型コロナ接種健康被害救済の案内は



映像

ホームページに掲載して周知している



8月22日現在、新型コロナワクチンによる健康被害救済制度認定数7970件、死亡認定件数777件。

問 10月から始まる新型コロナ定期接種のワクチンのメーカーと種類は。

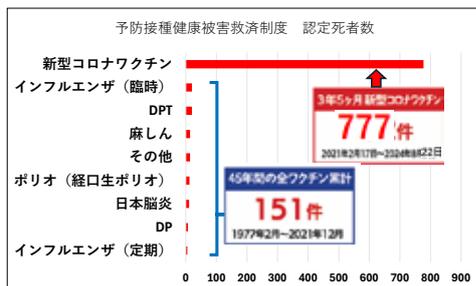
答 健康保健担当参事 ▼5社。種類は、mRNA、組み換えタンパク、レプリコン。

問 接種後、健康被害は本町であるか。

答 予防接種健康被害救済制度申請件数7件。認定5件、否認1件、審査中1件。

問 接種後数日以内の死亡への救済制度の案内は。

答 個別案内は考えていない。情報は周知できている。



出典：厚生労働省

問 支払いと許可書受け取りを、窓口に行かずに完了できるか。

答 教育部長 ▼早期実現に向けて調整。

当日利用とキャッシュレス決済導入調整

公共施設の当日予約利用を可能に

福祉産業建設委員会

協議会
8月6日

インクルーシブ遊具3基、 健康遊具2基を設置予定



一部遊具のイメージ

令和6年度の幸田中央公園整備では、親子で楽しめる空間づくりや、健康運動機能を充実し、公園の魅力の向上が期待される。
加えて、時計塔周辺へ、ソーラー照明灯および、かまどベンチを設置し、災害時の防災機能の向上が図られる。カフェ等整備は、実現に向け進める。

問 クッション性がある遊具床面か。
答 土の予定。次年度以降の整備を考えたい。

幸田町町村合併70周年記念事業ソフトボール教室

年々加入者が減少する子ども会活動の活性化や、スポーツに興味・関心を持ってもらうことを主な目的に、町内企業の協力のもとブライトペガサス選手9人を招く。

問 西尾市では、見学会からソフトボール普及につなげた。見学会の案内はされたか。
答 していない。情報収集し、検討していきたいらと思っている。



盛り上がる教室の様子

(他6項目を協議)

総務教育委員会

協議会
8月7日

災害時の避難所生活を検討

災害時に安心して避難生活を送れるよう、移動型バリアフリートイレトレーラーの導入を検討した。

問 設置場所まで牽引する車両は。
答 推奨車をリース契約で準備する。

問 町内イベントで利用できるのか。
答 基本は災害時使用。車両は消防本部管理、各担当課から申請をいただき検討する。

町民会館設置のピアノ老朽化に伴う更新を検討

問 設置から28年経過。ピアノの状態は。
答 セミコンサートピアノが修理不可能。他の2台のピアノは問題ない。
(他4項目を協議)



車いすでも入れるバリアフリートイレ

第7次総合計画策定特別委員会

協議会
8月8日

第7次幸田町総合計画の 策定に着手

第6次総合計画の進捗及び、第7次総合計画策定スケジュールが示される。

問 10年間で未実施の事業は、7次計画に向けてどう進めるか。

答 6次計画では具体的表記なく、下位計画に委ねていた。7次計画では、表記検討。

問 10年計画を立てたら、やっていく努力

力必要。大型事業の進め方の考えは。

答 半期の見直しは必要と考える。
前はイメージのみであったが、町全体、コミュニティ単位など具体的に示したい。

問 7次計画のキャッチフレーズは。
答 インパクトのあるものを考えたい。



幸田町総合計画の変遷

DX推進特別委員会

協議会
8月9日

DX推進方針の個別取組の 議論が進む

新たに着手する2つの個別取組を中心に5事業の内容や進め方が議論された。



※幸田町DX
推進方針は
こちら

●行政手続きオンライン化の拡充

マイナカードでの住民票の発行等、「書かない窓口」へ行かない「窓口」の実現に向けて、高齢者を始めと

したITに不慣れな方が、安心して利用できるような手続きのPRや窓口で対応等の議論が進んだ。

●アンダーパスの冠水対応のしくみ構築

国のデジタル田園都市国家構想の補助金の活用について質問があり、仲田アンダーパスの冠水対応が具体化した。



冠水した仲田アンダーパス

福祉産業建設委員会

管内視察
7月10日、
8月27日

町内の9施設および、 町外の3施設を視察



概要説明での意見交換の様子

●南部地域包括支援センター



新設された巨大なシェルター

●幸田中央公園

昨年度の事業および、今年度事業が進められる施設を中心に、町内の9施設を視察した。

7月10日



改装した教室での意見交換

●坂崎保育園



楽しむ利用者

●上六栗子育て支援センター



事業の理解を深める

●生涯現役館

多様化する住民ニーズに応え、町民に喜ばれる持続可能なまちづくりが期待される。事業の課題を把握し、将来を見据えたまちづくりに努めたい。
(他2施設を視察)



増築施設で目を光らせる筆柿星人

●道の駅筆柿の里・幸田



賑わいが期待される「さんがね家さん」

●三ヶ根駅前休憩所



遊戯室内での説明

●子ども発達支援センターむつみ



相談室内での説明

●岡崎市子ども発達支援センター

岡崎市と連携して運営している3施設を視察した。いずれの施設も、概要説明と併せて事前質問へ回答いただいた後、施設見学をしながら、忌憚のない意見交換ができた。

8月27日

いずれの事業も岡崎市と広域連携することで、多様化する町民ニーズに応え、より良い行政サービスの実現につなげている。利用者の増加や施設の老朽化、様々な変化に耐え得る事業運営が望まれる。どの施設も本町にとって重要な施設であり、将来に渡って、町民に喜ばれる施設運営に努めたい。



意見交換により理解を深め、施設の見学へ

●岡崎市中央クリーンセンター

管内視察
7月16日

安城市の水害対策と 博物館建設を学ぶ

市街地を水害から守るための水田貯留、博物館の建設に参考となる施策を展開している安城市を訪問した。

●水田貯留・雨水貯留
浸透施設設置補助事業

しくみや現状の設置状況について学ぶ。
平成12年の東海豪雨を機に水害対策として、取り組みが開始された。

具体的な内容として、近隣農家全体の合意のもと実施できる水路流量調整方式と、農家個別に実施する排水樹流量調整方式を実施。

高低差がある幸田町における水害対策として、水路流量調整方式の設置は課題が多いが、個別で行える排水樹流量調整方式については、農家の協力を得られれば設置は可能なため、設置後の有効性について検討していきたい。

●安城市博物館

建設から32年が経過し、現在は指定管理により運営。現在の来場者数や、特設イベントの開催状況、直営時と指定管理変更後の状況や、運営に伴う費用など詳細を学んだ。
新設された展示ケースもあり、幸田町として規模感などの参考としていく。



差しこむ場所↓



水量を調整する板

実際の使い方を学ぶ



保存状態のよい三河万歳の資料

議会広報特別委員会

委員長 田境 毅

副委員長 廣野 房男

委員 都築 幸夫 岩本 知帆 長谷川 進
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

幸田町議会だより No.194 2024.10.28発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 藤江 徹
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

【12月定例会の予定】

- 11月29日(金) 開会、議案の説明
- 12月 3日(火) 一般質問
- 4日(水) 一般質問
- 9日(月) 議案の質疑
- 11日(水) 福祉産業建設委員会
- 12日(木) 総務教育委員会
- 16日(月) 議会運営委員会
- 18日(水) 討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)

大好きな ソフトボール

坂崎小学校6年
くろの おうすけ
黒野 桜介さん



ぼくは、3年生からソフトボールを始めました。練習場所は坂崎学区にある^{たごやま} 岡山グラウンドです。初めて出た試合で悔しい思いをし、そこから土日のほとんどをグラウンドで過ごしてきました。最後の大会は4位でくやしかったけれど達成感でいっぱいになりました。

ぼくは、ソフトを通して礼儀など大切なことをたくさん学びました。4年間ソフトができたことに感謝しています。ソフトの練習には、グラウンドや広場が必要です。多くの子がたくさん練習や試合をできるように、幸田町にもっとソフトのできる場所が増えるとうれしいです。



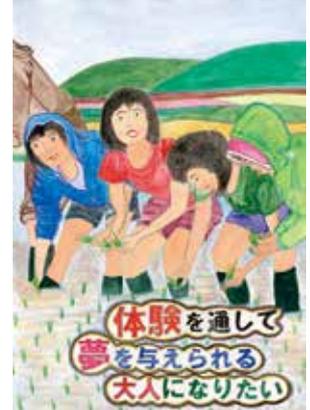
夢をくれた幸田町

幸田中学校2年
ありま もあ
有馬 苺空さん



幸田町は、たくさんの笑顔があふれ、私が挨拶すると地域の方も温かく返してくれる町です。そんな幸田町が私は大好きであり、誇りに感じています。

私の将来の夢は教師になることです。これまでも学校生活の中で、幸田町の人や自然、産業に関わりながらさまざまな体験をさせてもらいました。そして、そこから多くのことを学びました。将来教師になることができれば、私がそうであったように、体験を通して幸田町の子もたちに夢を与えられる大人になりたいです。そして、幸田町をますます元気で明るい町にしていきたいと思います。



未来の幸田町

荻谷小学校6年
おおし りょうま
大橋 諒真さん



ぼくは幸田町が都会になることを考えてみました。道路が増えたり、ビルやショッピングモールができたりすることを想像するとわくわくします。しかし、想像しているような都会に必ずなしてほしいというわけではありません。なぜなら、幸田町が都会になればな

るほど、緑が少なくなっていくかもしれないからです。ぼくは、自然いっぱいの幸田町が大好きです。だから、未来の幸田町が今と大きく変わらなくてもいいのかなとも思います。

来年も再来年も、緑豊かな幸田町であってほしいし、ぼくたちが幸田町の緑を守る役割を担っていきたいです。

